

流通合理化事業活動の概要



事業者：生鮮水産物夏季流通対策協議会

計画概要

パレット輸送の導入及び市場内中継拠点への冷蔵設備導入により、北海道産鮮魚の大阪以西への供給における鮮度低下及び販売機会の逸失を解消することで、大阪以西の各市場への北海道内生鮮魚の供給量を増加させる。

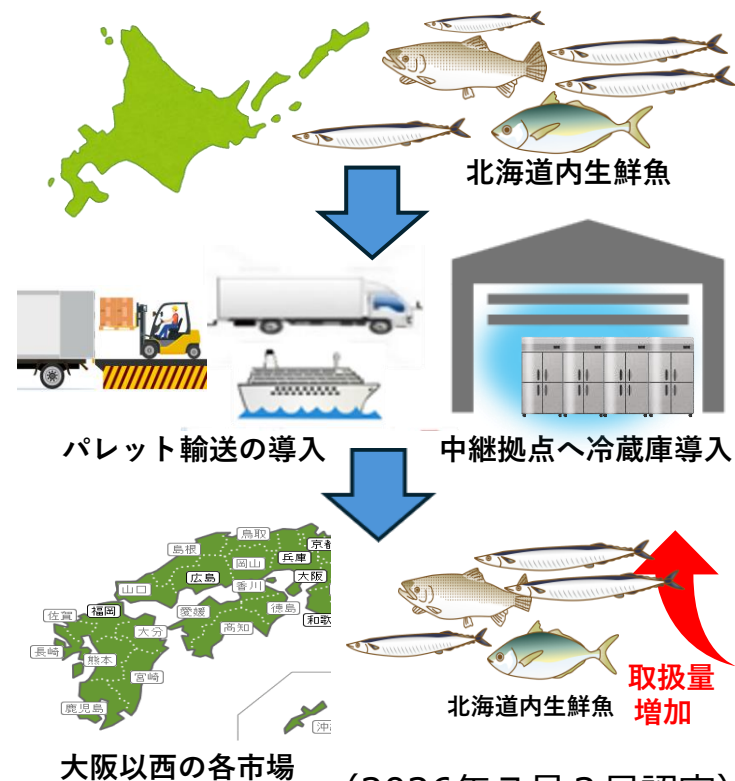
目標

大阪以西の各市場への北海道内生鮮魚の供給量を
2025年度の1,102トンから、2029年度までに1,160トンに
増加させる。

食料システムへの寄与

鮮度・品質を維持した効率的な供給により、農林漁業及び食品産業の流通コストの削減、食品ロスの低減及び販路拡大を実現し、持続的な食料システムの構築に寄与する。また、価格の安定や品質向上により、消費者利益の増進に寄与する。

計画のイメージ



(2026年7月3日認定)